

## 丑 新年あけましておめでとうございます。

皆様、年末年始はいかがお過ごしだったでしょうか。昨年の世相を表す漢字は「変」でした。「変化」とか「変動」とか、世の中が大きく変わっていく兆しを見せているということだそうですが、私は、そのものずばり「世の中なんか変だなあ。」というのが正直なところですが、今年こそは、「まとも」な年になればと祈っています。井田小学校・幼稚園は、ともに1月8日に始業式を行いました。小学校では、「興味をもって、進んで勉強しよう。」「目標に向かって具体的な行動をしよう。」という話をし、今年度まとめの3学期がスタートしました。

さて、12月には、今年度の学校評価を行いました。児童、保護者、井田小学校幼稚園地域連絡会委員の方には、アンケートに答えて頂き、それも加味しながら、全教職員の自己評価結果を分析し、来年度の準備に取り掛かろうとしているところです。今後の予定は、今年度の自己評価結果をまとめ、今後の方針や対策案を、2月上旬に予定している井田小学校幼稚園地域連絡会の席上で、学校関係者評価をして頂いた後、学校評価結果等を、幼小だより2月号及びホームページで公表、並びに大田市教育委員会に報告する計画でいます。

それに先立ち、今年度のまとめの学期となる3学期の指導の重点について、お知らせします。

井田小学校		
考える子 (確かな学力) の育成	○PISA型読解力の向上をめざして、日々の授業の中で、感想や自分の考えを発表したり、書いたりする活動を多く取り入れていきます。	○3学期にあと2回児童朝礼を設定するなど、全校児童の前での発表の機会をつくります。
関わり合える子 (豊かな心)の育成	○自然に異学年が群れて遊ぶようになることをめざし、全校遊びの時間を確保していきます。	○学級活動や全校の場で、自分の考えを自分の言葉で発言できるよう、話し合い活動に力を入れます。
あいさつができる子 (基本的生活習慣と規範意識)の育成	○あいさつをすることが人間としていかに大切であるかという指導をさらに行います。	○食べ物の好き嫌いをなくすことや食べ方の指導を、給食時間を中心に行います。
たくましくねばり強い子 (たくましい心と体)の育成	○持久力とねばり強さの向上をめざして、パワーアップタイムとマラソン記録会を継続して行います。	○睡眠の大切さの指導を、第2回すすく委員会の取組等を通して、さらに行います。
井田幼稚園		
○クラス全員で活動したり、グループに分かれて当番活動をしたりして、友達と協力する活動を多く取り入れます。	○なわとびや竹馬に挑戦したり、戸外で遊んだりして、体を動かして遊びます。	○食べることの大切さを知らせ、好き嫌いをしないように繰り返し指導します。

## 2/22(日) 地域授業公開日のご案内

1:30~2:15 授業公開【各学級で】  
2:30~3:50 教育講演会【多目的ホール】  
講師 笠井耕助氏

(現山陰中央新報社ひかわ製作センター社長、前山陰中央新報社論説主幹)

昨年の井田誠夫氏に続いて、井田小学校卒業生を講師に迎えての教育講演会「ようこそ先輩シリーズ第2弾」は、菰口出身の笠井耕助氏です。演題は未定ですが、記者としての経験や新聞づくりを通してのふるさとへの思いを語って頂く予定です。地域の皆さん、保護者の皆さんに、たくさん、授業参観や教育講演会に来て頂きますよう、お知らせに併せてご案内いたします。

11月号に載せましたが、本年度の難波利三ふるさと文芸賞で6年生の■■■■さんが特選を受賞しました。その後、学習発表会やふれあい学級の席上で作文を読みました。多くの方から好評を博し、もっとより多くの人に知ってもらったらどうかというご意見、ご感想を頂きました。遅くなりましたが、今月号に載せましたのでお読みください。

## 難波利三ふるさと文芸賞特選

### 伝えたいこと

井田小学校6年 ■■■■

私の住んでいる井田は山や川、田が多くあります。登校路には実った稲がっらなり、風が吹くたびにわっさわっさと音を立てます。たくさんの緑ががんばって井田の空気をきれいにしてくれている、そんなことを考えるようになったのは光合成を習ってからだと思います。登下校の道をいろんなことを考えながら歩くのは楽しいです。

一学期の半ば、総合的な学習で産業学習がスタートしました。井田の産業って何だろう。ウェブ図を書きながら真っ先に思いうかべたのは農業でした。自然の多さには自信があります。私は米作り、メロン、牛で決まりだと思いました。クラスの話し合いでもこの三つを挙げる人がほとんどでした。その中で一人だけ「瓦」と言った人がいました。私は瓦を地域の産業と言ってもいいのかどうか疑問に思いました。確かに井田には瓦工場がありますが、どんなところかよくわからないし、井田の人がその工場で働いていると聞いたことがなかったからです。そこで瓦について家の人や近所で聞き取りをしたり、インターネットで調べたりすることにしました。調査を開始して集まった情報にみんなおどろきました。瓦工場では私の思った以上に井田の方が働いておられました。そしてホームページには瓦の歴史や工場の様子、機械、製造過程の説明が詳しくのっていました。中でも環境に配慮しておられる会社だと分かって思わず「すごい。」と言ってしまいました。私の住んでいる井田にこんな会社があるなんてうれしくなってきました。次の話し合いでは全員が工場を見学したいと希望し、公民館の主事さんを通してオーケーをもらった時はみんな「よっしゃー。」と喜びの声を上げていました。それから見学までの間に山ほどあった知りたいことを整理して会社に持って行きました。見たり聞いたり触ったりして見学時に全て解決できるようにして下さるそうで、わくわくしながら見学の日を迎えました。

社長さんの説明から昔は井田の方々が多く勤めておられたこと、日本でも有数の良質粘土が温泉津に埋蔵されていたことなどを知りました。だから産業が発達したんだなと思いました。地元に住んでいながら今まで知らなかったことがはずかしくなりました。工場内には大変な量の粘土と多くの機械があり、瓦に一ミリのきずも付けてはいけないという気持ちで一先けん命働いておられる方々の熱気であっとうされそうでした。できあがった製品は瓦の売り上げを伸ばすために最近、外国へも出荷されると聞きました。小さな田舎の町から発信されるパワーを感じました。

これからの学習では、今回学んだことをまとめ、ふれあい学級のみなさんや以前瓦工場に勤務しておられた方々を招いて発表会を行います。私は瓦産業のすばらしさとうれしい気持ちを伝えようと思います。学習するたびに自まんすることが増えます。また登下校路は楽しい道になりそうです。

### お米券を換金し、「海外たすけあい」に寄付しました。

井田小学校は、バケツ稲づくりコンテストで、平成17年度には金賞、18年度には文部科学大臣賞を受賞し、副賞として「お米券」を頂いていました。

当時、この「お米券」をどのように扱うかについて話し合っていたところ、ちょうど国語で「マザー・テレサ」の学習をしました。その学習中に、世界中の飢餓や戦争や病気に苦しむ子どもたちに「お米券」を贈ることはできないかという意見が出て、いろいろ調べたり、考えたりしましたが、「お米券」を直接贈ることは難しく、延び延びになっていました。

そこで、現5・6年生で再度話し合い、「海外たすけあい」に、「お米券」を換金し寄付し、自分たちの思いを届けてもらおうということに決め、昨年末に、NHK松江放送局へ届けました。時間はかかりましたが、2年越しの子どもたちの「世界中の恵まれない子どもたちに役立てたい」という思いは、きっと伝わると思います。



### 1・2月の主な行事予定

- 1/28(水) スキー教室【琴引フォレストパークスキー場】
- 2/10(火) 大田市表現ダンス発表会【大田市民会館】